

☆公害による健康被害を許すな!  
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



# 大阪から公害をなくす会 ニュース

## 大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19  
内本町松屋ビル10 370号  
TEL 06-6949-8120  
FAX 06-6949-8121  
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp  
URL http://oskougai.com/  
発行責任者 芹沢 芳郎  
年間購読料一部2,000円(送料共)  
郵便振替 00910-7-300387



### 日韓の アスベスト 被害者

## 心の交流と被害者全員の救済を誓う

### 「泉南地域の石綿被害と市民の会」との交流会

2010年2月13日から15日、韓国大田地域からアスベスト鉍山被害者と地域住民被害調査を行っている弁護士・環境運動グリーンコリア代表の3名が来阪し、泉南被害者との被害実態の情報交換と被害者全員救済のための制度のあり方などについて交流しました。韓国からの招聘は、昨年8月の韓国訪問で日本軍による強制労働等で劣悪な労働条件で作業させられていた鉍山労働者と周辺住民の被害実態に衝撃を受けた学者・弁護団の皆さんの是非にとの要請を受けて実現したものです。

新春集會に先立って行われた、泉南の患者さんたちと韓国メンバーとの交流では、泉南の被害の悲惨さに韓国メンバーは「胸がつぶれそうだ!」と感想をもりました。

小山さんは「アスベスト鉍石を粉砕する仕事をしていて。細かい粉で真っ白になっていた。お母さんは肺がんで、夫も肺がなくなったが遺体には真っ白なアスベストがこぼらなって焼けずに残っていた」岡田さんは「両親がアスベスト工場で働き、私はその工場で育った。工場の社長は石綿は安全だと食べて見せ

た。私は石綿被害になるはずはないと補償対象にならない」佐藤さんは、直近に亡くなった夫のことを涙でつまりつまずき話した。光田さんは「35年間アスベスト工場で働き肺結核だとか喉頭がんとか最終石綿肺で吐血・窒息死した夫君の無念」を話した。

韓国鉍山からの石綿鉍石はどこにも出されたのか?という質問に、鉍山被害者のチョンさんは「そのまま貨物に積んで列車で釜山まで運び船で日本に持ちだされた」と聞いている」と答え、もしや泉南に...という、被

で放置したのか!」と日本国政府への不信が出され、「だからこそ国家賠償請求訴訟を起こしている」という弁護士団の説明に納得されました。

翌日の集いでは、韓国訪問時のMBS放送の記録ビデオの放映、日本の石綿被害特別法が、石綿肺が対象外であるなど隙間のない救済制度になっていない欠陥が明らかにされ、韓国での制度化への教訓とされました。そうして、市民の会の袖岡さんが作詞された、岡田晴美さんの人生歌には多くの参加者が涙したものです。(藤永のぶよ記)

### 泉南アスベスト国賠訴訟第2陣 口頭弁論はじまる

### 聞きしに勝る苦しみの実態が語られる

泉南アスベスト国賠訴訟第2陣8名の被害者と原告の第1回口頭弁論が2月10日午後から行われました。最初に原告の赤松四朗さんからの訴えは、混綿カイドの粉じんのすさまじさと石綿肺だと告知された時のショック

ク、酸素を手放されない息苦しさを、妻を残して先に逝ってしまった。心苦しさが語られました。また徳永信子さんは酸素を手放せず、苦しんでなくなったご主人の遺族としての訴えです、石綿が悪いと知らずに長年一生

の無念さ、国の対策の遅れをこの裁判で明らかにしたいと訴えられました。最後に勝たせる会から第1陣の判決日5月19日までの行動提起が行われ、皆さんの参加が訴えられました。

懸命に働いた結果、11年5カ月もの長い闘病生活をつづけたご主人

害の共有感がひろがりました。韓国側からは、盛んに「なぜ日本政府は今日ま